

きほく  
鬼北町

# 議会だより



## 目次

- P2 鬼北町議会体制
- P3 議長挨拶
- P4～ 議会改革特別委員会特集
- P6～ 議員の窓
- P18～ 町民の声
- P20～ 議会活動報告・  
常任委員会合同視察研修
- P22 編集後記ほか

第5号  
令和6年3月

# 鬼北町議会体制

令和6年度の鬼北町議会の体制は次のとおりです。



ほどうち さとし  
程内 覚 議長



すえひろ あきら  
末廣 啓 副議長

## 委員会

総務産業建設 常任委員会	厚生文教 常任委員会	予算常任委員会		議会広報 常任委員会	議会運営 委員会
◎芝 照雄	◎山本 博士	◎赤松 俊二	山本 博士	◎松浦 司	◎福原 良夫
○兵頭 稔	○赤松 俊二	○福原 良夫	松下 純次	○高橋 聖子	○高橋 聖子
坂本 一仁	高橋 聖子	坂本 一仁	芝 照雄	兵頭 稔	山本 博士
中山 定則	福原 良夫	兵頭 稔	松浦 司	中山 定則	赤松 俊二
松下 純次	松浦 司	高橋 聖子	末廣 啓		芝 照雄
末廣 啓	程内 覚	中山 定則	程内 覚		松浦 司

◎は委員長、○は副委員長



# 議長挨拶

## 議長に就任して



程内 覺

令和5年5月より鬼北町議会第十代議長に就任し様々な活動をしています。皆様ご承知のとおり現在全国的に市町で議員の成り手不足、報酬の問題、議員定数の問題等各地各所で議論されています。当議会といたしましても、こういった諸問題に対して取り組みを始めて参りました。

令和4年12月、議会改革特別委員会を設置し、議論していく中で、町民の皆様は議会に対するアンケート調査を

鬼北町全域3,160戸にお願いして、393件の回答をいただきました。また、日吉村と広見町が合併後、初めての取り組みとして、各公民館単位で議会報告会を開き、議員と町民の皆様との意見交換を実施することができましたが、各会場とも参加者が少なく少し残念でした。アンケート及び報告会では様々なご意見を頂き、今後の議会運営において参考になりましたし、町民の皆様と、もっと話し合える場を多くつくっていく必要性も感じたところです。

さて、ようやく新型コロナウイルス感染症も感染症法上の位置付けが五類に引き下げられ、随分動きやすくなりました。10月には、議長として、松山市で行われましたねりんピック笑顔の愛媛大会開会式に出席し、各県代表の選手団を見る機会があり、元氣一杯の行進に感銘し、翌日の鬼北町でのペタンク大会でも、選手の皆さんの活躍に元氣を頂きました。

また、11月には、愛媛県町村議会議長会において議長視察研修に同行し、航空自衛隊横田基地で「航空総隊副司令官空将影浦誠樹氏」(砥部町出身)に、

基地の説明を丁寧にして頂きました。また、翌日には、東京NHKホール

にて全国町村議会議長会に事務局長と共に出席し、全国の問題を共有し、決議を採択いたしました。

5月の議長就任以来、6、9、12月の各定例議会を町民の皆様、議員各位の協力で、つづがなく終了することができ、安堵しています。最近の当議会では、議員の特権である一般質問も多くの議員から提出されるようになり、議会改革、議会活性化が進んでいることに喜んでいます。今後につきましても、各位のご協力を得ながら、町民の皆様の負託に応えられる議会を目指して、努力していく所存です。



〈米軍輸送機前で〉

# 議会改革特別委員会

(令和4年12月8日～令和5年12月14日)

令和5年12月14日、第4回鬼北町議会定例会において、議会改革特別委員会調査最終報告書を提出した。

報告書における議員定数については、人口減少や町民からの声を重く受け止め、「削減」の結論となった。削減数については、2人以上削減する意見もあったが、予算常任委員会及び議会広報常任委員会を除いた各常任委員会にそれぞれ議長を加えた6人で円滑に運営できるようにするため、議員定数を11人とすることが最低限度と考え、1人減とした。

議員報酬については、町民アンケートの結果や議会報告会、県内及び同規模自治体の議員報酬を参考とするとともに、議会運営全体の活性化や議員のなり手不足の解決を考え、増額が望ましいとの結論になった。報酬額については、社会情勢を見据えつつ、町民との対話や明確な根拠で説明責任を果たしていく必要があるが、議会・議員活動量などを考慮した原価方式で算出を行い、活動実績に見合った報酬を確保する必要があると判断し、現行173,000円から230,000円とし、57,000円増額するとした。

定例会においては、反対討論（1人）があり、賛成9人、反対2人の賛成多数で報告書のとおり取り組むことに決定した。定例会終了後、議会は町長あてに「鬼北町特別職報酬等審議会の開会及び鬼北町議会議員報酬額の審議開始の要請書」を提出した。

芝 照雄（委員長）
松浦 司（副委員長）
兵頭 稔
高橋 聖子
赤松 俊二
末廣 啓

## 議会改革特別委員会視察調査研修について

兵頭 稔

令和5年5月9日・10日の2日間、広島県の北広島町及び安芸太田町へ「議員定数・議員報酬及び議員のなり手不足について」をテーマに、研修に参加しました。

9日、北広島町会議室において14時から16時まで議論を交わしました。

北広島町は令和元年6月から令和2年6月まで1年間、議会基本条例の一部見直し、議員定数・報酬について調査を実施。

10日、安芸太田町で13時から15時まで討議を実施しました。

安芸太田町においては、令和3年11月「議会改革特別委員会」を設置し、「町議会機能を高め住民の期待に応える組織を目指して」の調査に取り組んでいました。

以上のような研修内容だったが、どこの自治体も同じような課題があることが分かり参考になりました。これからは鬼北町に住みたいと言われる町になれるよう議員活動に取り組みます。



〈広島県安芸太田町〉

# アンケート結果

## 【議員定数（12人）】

①増やす	8件	2%
②現状維持	153件	38.9%
③減らす	204件	51.9%
④わからない	20件	5.1%
未回答	8件	2%

- ・人口減少に伴って当然議員数も減らす必要がある。
- ・議員報酬を上げるなら議員定数減とセットで進めるべき。
- ・議員を減らして一人当たりの報酬を増やす。
- ・鬼北町は住民数に対して議員、特に職員が多すぎる。人口も益々減っていくから税金面で職員も減らすべき。

## 【議員の報酬（173,000円）】

①増やす	121件	30.7%
②現状維持	160件	40.6%
③減らす	72件	18.3%
④わからない	32件	8.1%
未回答	9件	2.3%

- ・若い人が仕事として議員活動をすべきだということを、もっとPRしていく必要がある。
- ・若手からの出馬を増やすなら、将来に不安なく議員活動と普段の生活が両立できるように、多くの議員報酬を出すべきではないか。
- ・議員報酬を上げることで、なり手不足解消に動くべきだ。
- ・議員の報酬は少ないと思うが、住民も年金は少なく物価や電気代等上がるので頑張ってもらいたい。
- ・町議の報酬で生活している人はいない。それと、区長経験者が出てもらったら良い。

# 議会報告会

鬼北町議会では初めてとなる議会報告会を9月から10月にかけて、各6地区をまわり行いました。意見交換会の中で、議員定数については、「人口減少に合わせて議員定数を削減すべき」という意見が多く、議員報酬については、全国の財政規模の類似団体と比較しても低く、「若い候補者が議員に挑戦できるような報酬への引き上げが必要である」、「子育て世代による議員のなり手不足の原因の一つとして報酬の低さがある」など様々な意見をいただきました。

今年だけで終わることなく、来年以降も継続していきたいと考えております。



〈愛治地区〉



〈好藤地区〉

# 議員の窓

## 地域を考え



坂本 一仁

皆さんこんにちは坂本一仁です。今回は、地域における行事や各種団体の今後の活動についてお話させていただきます。

令和5年5月に、新型コロナウイルスが5類になり、鬼北町も以前の活気を取り戻しつつあります。しかし、地域行事、敬老会など規模縮小なのかはわかりませんが、表彰、お弁当の配布等にとどまり、これまで

貢献してくださった高齢者の皆さんを地域の方々の方が労をねぎらい、盛大にお祝いするといった様なコロナ前の行事をしていただけなくなつたことを非常に残念に思います。やらなければ楽だという方々もいらつしやいますが、私はそうではないのではないかと考えます。

そういった行事の中で、年に1、2度会えるかどうかの友人達と昔のことを思い起こし、語り合う楽しみがなくなるとともに「あの人も頑張るよるけん、私も頑張らんといけんわい」という様な活力もなくなります。これは現在、町内で数校実施されている小学校と地区合同運動会にもいえることで、私の住む好藤地区でも部落からの参加者も制限、半日で合同運動会が終わってしまう状況で寂しい思いを感じました。本来、小学校の運動会は、一日中小学生が主役で、先生方のご指導のもと素晴らしい思い出の残る運動会にしていただいていました。しかし、少子化に伴い児童数が減少し、小学校単独で開

催するのが困難となり、地区と合同で運動会となりました。小学校の生涯学習と親睦、ふれあい、交流を第一に考える地域住民が、一緒に運動会をして大丈夫なのかと考えましたが、地域住民の方々も時には笑いが起こるものの、子供や孫にたくましい勇姿を見せているのも事実です。このことから、今後とも小学校と地域がしっかりと連絡協議し、運動会を開催しなくてはと思います。



〈議会報告会（好藤地区）〉

次に、地域の中の老人クラブ、女性団体、青年団、消防団、地域見守

り隊の方々、日頃は地域を支え、見守り、盛り上げていただきありがとうございます。少子高齢化に伴い人口減少が進み会員数が減っていくにもかかわらず、活動協力を重ね重ねお礼申し上げます。今後とも、地域のためご尽力していただけると助かります。コロナが完全に終息し、以前のような活気ある鬼北町に戻れる事と、皆さんが健康で笑顔で過ごせることを心より願います。

## 水道事業について



兵頭 稔

鬼北町議会だより第4号でも水道料金についての考えを述べましたが、

全国での水道料金が一番安い自治体で、20㎡で853円（赤穂市）、一番高いのは北海道夕張市の6,841円です。

鬼北町は、愛媛県で上島町に次いで2番目で5,170円です。高い理由は、前回の議会だよりで述べましたが、細かく調べてみると、鬼北町になってからの企業債が32億4千万。この企業債を借りる必要があったか、詳細に調査してみると、平成16年、17年、18年については、利益剰余金足りない状態なので仕方ないとして、その後は、計画的に建設改良積立金に貯めていけば、企業債を借りる必要がなかったように思われます。その理由は、平成28年に1億5,674万6,726円を、令和元年に7億6,271万4,101円、令和2年8千万円、令和3年81,686,697円と自己資本金に組み入れていきます。



〈第4回定例会〉

本来、資本金に組み入れられる金額は、鬼北町水道事業の剰余金の処分に關する条例の第2条の第4項により資本金に組み入れられるが、鬼北町の水道事業は、第2条の第3項を適用して資本金に組み入れていきます。そのため流動比率は低く、いつまでたっても高い水道料金を収めなければならぬし、企業債を借りれば利息が多くなり、人口減少で水道料金の収入が減少し、遅からず水道料金を値上げしなければならぬとなります。

税金は全国共通ですが、水道料金

は経営方法を間違えなければ全国平均程度で行けると考えています。令和3年12月の定例議会で町長が水道料金を安くするのだったら、町の負担を多くすればと言われましたが、それが正解なような気がします。なぜなら、町債の利息は、企業債の利息より大幅に低い利率で計算されていると思われれます。近隣市町と同水準の料金に近づけるか、今後も模索・検討していきたいと思えます。

## 一般質問



高橋 聖子

私たち議員の役割のうち、最も重要なもののひとつに一般質問があります。

一般質問とは、議員が町長をはじめとした執行部に対して事務の執行状況や将来の方針、課題などの行政全般について質問することです。一般質問は、町民の皆さんの声を執行部に届ける貴重な機会です。

私は令和5年9月定例会で一般質問をしました。(一部抜粋)

**問** **がん検診、治療に関する町の取り組みについて**

**答** 本町においては、各種「がん検診」は、町内各地区ごとに行っているが、健康診断と一緒に受診することで、より疾病の予防や早期発見が見込めることから、「総合健診」を基本スタイルとして実施し、「がん検診」の結果、「要精検」と判定された方に対し、精密検査の重要性を説明した上で、的確な受診が確保されるよう、医療機関への受診指導を強力に推進している。

**問** **がん患者ウィッグ及び胸部補正具購入費助成についての町の取り組みについて**

**答** 現在のところ、購入費助成はこなっていない。しかし、医療技術が進み、通院治療をしながら仕事を続ける患者さんが増える中、がん治療に伴う脱毛といった外見(アピアランス)の変化に対するケアを通じ、がん患者さんの質の向上と、社会参加を支援することは必要不可欠である。令和6年度からの助成制度実施に向け、助成の対象品と金額等について、協議検討を行っていく。

**問** **若年がん患者在宅療養支援について**

**答** 若年のがん患者が、住み慣れた自宅等で自分らしく過ごせるよう、在宅での療養に対して支援を行うことにより、患者やその家族の負担の軽減を図るため、令和2年4月1日付けで「鬼北町若年者在宅ターミナルケア支援事業助成金交付要綱」を制定している。

がん患者が前向きに治療集中できるように、小さい町だからこそでき



る、患者に寄り添ったきめ細やかな施策をこれからも考えていただきたいという思いで質問しました。



〈北宇和郡議員研修〉

### 第三次鬼北町男女共同参画 基本計画について



中山 定則

鬼北町は、平成19年3月20日に制定した鬼北町男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画推進施策を総合的に実施するため、基本計画を策定しました。第三次基本計画は、平成31年から概ね5年間として策定されましたが、その進捗状況について、令和5年3月定例会で一般質問しました。

**問** 男女参画という言葉の認知度は、100%に近づいたか。

**答** 現在、町民意識調査を実施しているところであり、次期計画において報告・公表を予定している。

**問** 役場が町内企業等に率先し、職場における男女共同参画のモデルとなるため、男女共同参画室を設置して、総合的に男女共同参画推進施策を実施する考えはないか。

**答** 男女共同参画の推進については、各部署の相談支援体制を活かしつつ、既存事業の充実、連携を図りながら、各施策を展開したいと考えているところであり、現在のところ、男女共同参画室の設置等は

予定していないが、総合的な推進施策、分野にとらわれない重層的支援事業の在り方についても、関係課を交えて協議を行っていきたいと考えている。

**再質問** 専任職員を置いて男女共同参画を強く進めていく必要があると思いますし、女性職員の登用も含めて検討できないか質問します。

**答** 専任に近いといえますが、もつと中身を精査して必要な部分については、職員の配置についても考えないといけないと思っています。



〈第4回定例会〉

今回の一般質問は、令和5年度で終了する第三次の基本計画の進捗状況を確認するため行いました。計画どおり庁内推進体制を整備して、男女平等参画社会の実現に向けて、各施策に積極的に取り組んでほしいと思います。

## 放課後児童クラブについて



山本 博士

令和5年9月定例会において「放課後児童クラブについて」一般質問をしました。

**問** 放課後児童クラブの利用状況について。

**答** 今年度の放課後利用登録児童数は44名、夏季休業中は、54名の登

録児童数になっている。利用希望者数は年々増加傾向にある。

**問** 他の小学校の利用状況と人数制限について。

**答** 現在、好藤、泉、日吉小学校に放課後子ども教室を設置している。令和5年度の登録数は、好藤22名、泉18名、日吉25名です。人数制限は設けていない。夏休み、長期休暇、学校休業日については開設していない。

**問** 放課後児童クラブでは人数制限があるのか。

**答** 児童1人当たりの面積基準が1.65㎡と決められており、定員が50名で面積を満たすため、児童が50名を超える受入れはできない。

**問** 利用状況に対して、今のスペースで足りているのか。

**答** 夏休み中の申し込みが今年度は66名の申し込みがあり、1割程度多めの54名の方を受入、それ以上の方はお断りした。

**問** 子ども教室においては、正式に放課後児童クラブに見直す必要がある

のでは、また利用される児童も増える状況で、児童クラブも増設なり、空き家の改修などを利用し、様々な方向から検討すべきではないか。

**答** 現施設の放課後児童クラブの増設、子育て支援施設として、子ども達の集う場所の整備、廃園になった保育所跡地の利用など、今後検討していかねばならない。また、子ども達を見る指導員さんの人手不足、夏休み中は10時間15分と長時間にわたり、半日交代で行う、放課後児童支援員認定資格を持つている方が、それぞれの施設に最低1人は必要など、今後検討していきたい。

**問** 土曜日や夏休み等、休業日における昼食の提供はできないものか。

**答** 子どもの健全育成という目的を踏まえ、親子のコミュニケーションなどの観点から、保護者が用意した昼食を持参するとの放課後児童クラブ建設時の考え方により、施設には調理設備や調理器具は揃えていない。

全国の例を見ると、弁当の配達を実施している児童クラブが大部分です。他市町の事例や動向等を注視しながら、子育て支援につながる施策を見極め、児童の健全育成に取り組みます。

**問** 300円くらいのお弁当の提供など、そのような取り組みはできないものか。

**答** 子育て支援の観点から、お弁当の発注をする業者さんがあるのか、確認した上で保護者の方々の意向を確認し、その結果で具体的に検討を進めます。

少子化対策の中で、子育て支援は大変重要であると思っております。共働き世帯が増加の中で、夏休み中の放課後児童クラブの利用も増加し、54人の方を受入、それ以上の方はお断りをした状況です。子育て支援において、あつてはならないことだと思っております。保護者の皆さんが安心して子育てできる町づくりを今後も追及していきます。



〈放課後児童クラブ〉

## 空き家・空き地の管理について



赤松 俊二

空き家・空き地の管理については、法律上所有者に責任が生じるものであり、基本的な対策を講じることが難しい状況です。

しかしながら、少子高齢化に伴い、所有者不明の空き家や空き地等が今後増加し放置され、雑草雑木により衛生面や安全面の悪化が懸念されています。

鬼北町においては、住民から空き家等が管理不全な状態であるとの情報提供があった場合、「鬼北町空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、

個々の案件に対して、企画振興課・建設課・環境保全課等関係する課が連携し、必要に応じて鬼北町空家等対策協議会が個々の対応を協議し、実施します。



〈老朽危険空家除却・空き家の管理啓発パンフレット〉

また、空き地等の土地について、管理条例等は設けられていませんが、所有者がしっかりと管理できる規定を設け、今後の制度の在り方についても検討していく必要があると思います。

ます。対象になる物件が民地同士である場合は、町が強制力を持って介入することは難しく、解決できない案件もあるかと思いますが、引き続き所有者へできる限り可能な対策を行っていくよう求めてまいりたいと思います。

今後とも鬼北町の自然豊かな景観を維持することが重要だと考えます。

### 議員活動について



芝 照雄

鬼北町の特産品を使用したレストランが東京にあると聞き、令和5年12月22・23日、視察に出向きました。

「えひめ鬼北町 魅力発見イベント

ト」と題して、東京・神田で行われ、町長以下企画振興課の担当者3人とフェザンフィレールの丸石氏に、鬼北町のピーアールをしてきたいただき、会場はそれほど広くはありませんでしたが、約25名のお客さん達で盛り上がっていました。

職員の方々が頑張って鬼北町の知名度アップに力を入れている姿を見て、議会人としてのできることを考えさせられたひと時でした。



〈えひめ鬼北町魅力発見イベント①〉



〈えひめ鬼北町魅力発見イベント②〉

## 「一搬質問」

令和5年9月定例会において、質問をしました。

**問** 町内自治会・組織の統廃合について。

**答** 自治会組織は、地域の独自性が強く、行政主導の自治会再編が法的に問題はないとしても、最も尊重されるべきことは、地域住民の意思決定によるべき。

との答弁でした。私が思うには、人口減少の歯止めが利かないこと、町部への住人移動が重なり、各地域の自治組織の存続問題は、加速するものだと思います。各地域の文化伝統等の継承

も重要ですが、地域住民間のコミュニケーションが大事だと思います。それには、各地域の自治会を中心とした活動を住民全員で支え合うことが必要です。

コロナ禍の中、中止されていた各組織の活動も復活してきたようですが、活動人数が少ないために縮小するなど、苦労されているのが現状だと思います。そこで、地域の方が手を取り合い、協力して自治会組織の活動について尽力していただきたいと思えます。

この問題について、今後も注視していきたいと考えております。



〈自治会活動〉

## 自分たちの健康



福原 良夫

椎間板ヘルニア手術をしてから、1年3か月が経ちました。

最初は、仕事もあまりできない状況でしたが、少しずつできるようになり、今では、痛みが少しはあるものの、生活に不自由は無く、仕事もできています。

同じ日に手術をし、同じ日に退院したAさんはブロック注射を5回もしたそうです。それでも痛みが取れてないそうです。

Aさんが、「最初頃に飛び降りたのがいけなかったのかな。」と言っていました。

先生からも、「飛び降りたり、尻餅をついたり無理なことは駄目だ」と言われていました。それでも、Aさん仕事はしているそうです。

自分は、注射もしてないし、手術して良かったと思っっています。前ほどの動きも出来なくなりましたが、これは年のせいですかね。

毎日がリズム正しい生活を送れることが一番だと思います。

新聞を読んでいると、健康について良い記事が載っていました。生活習慣と向き合うという記事で、精神内科医の先生です。「睡眠時間が不規則な人は、脳梗塞や心筋梗塞の疑いがあることが多く、寝る前に食事をする人は、肥満、糖尿病になる人が多い」そうです。

起きる時間も大切です。不規則な生活の人でも「同じ時間に起きる」ことが、生活のリズムを保ちやすい、ということがわかっていくそうです。起きたら、毎日（体内時計）をリセットする事が重要だそうです。

体内時計をリセットするには、①

起きたら太陽の光を浴びること。②起きたら食事を取ることであれば起床してから1時間以内に食べることで、少なくとも寝る2時間前には食事を終えること。

就寝前のスマホの使用は体内時計を狂わせる。睡眠の質を悪化させることがある。室内の明かりではだめ。室内の明かりは太陽光の10分の1から100分1程度。太陽光は曇りの日でも、室内の明かりの10倍程度明るさがある。窓際に立つだけでも良いそうです。

食事、運動、睡眠のリズム正しい生活をしていきましょう。

### 【令和5年の一般質問から】

●子育て支援として、鬼北町も多くの支援をしていますが、チャイルドシートの補助金が無かったため、補助金が出せないか質問した。

その後、チャイルドシートについて補助金が出るようになった。

●帯状疱疹ワクチン接種は、1回約2万2千円で、2回接種する必要

があり、家計への負担も大きいため、半額補助が出せないか質問した。その後、令和6年3月の補正予算案に関連費を計上する方針を示した。

●学校給食の無償化についてただしたところ、無償化は難しいとの答弁でした。



〈第4回定例会〉

## 一般質問の報告



松浦 司

去る6月15日に開催された令和5年6月定例会一般質問の報告をいたします。

今回は、町が抱える重要問題の中で『鬼のまちづくり』『人口減少対策』について重点的に質しました。

『鬼のまちづくりについて』

**問** 平成28年から鬼のモニタメントを町内2か所建立し、鬼のまちづくりに取り組んできた。全国から集まった造形物の活用について問う。

**答** 鬼の造形物は、現在、計8回

500点を超えている。作品名や作者、作者のコメントなど、鬼の造形大賞公式インスタグラムで紹介し、鬼の造形大賞のPRに活用し、日吉歴史民俗資料館、役場庁舎内、道の駅、南予森林組合、フジ見店、フジグラン重信等で展示している。観光まちづくり事業を推進する上で、保管作品の活用の在り方についても、引き続き、前向きに検討する。

**再質問** 過去、全ての造形物が展示されているのは、確認ができてない。展示をする建物等、建設することは考えていないか問う。

**再答弁** 道の駅の上の現存する建物を利用、近永駅の町なかエリアを検討中である。中身については、全てを展示、または、ある程度期間を置いて順番に展示、展示の方法は、まだ決定していない状況である。道の駅の改修の時期もあるので、少し今から踏み込んだ検討をしていく。

『人口減少対策について』

**問** 過疎化・高齢化のさらなる進行により、地域の活力が失われるばかりか、集落機能の維持すら難しい状況が懸念されており、第二次鬼北町長期総合基本計画では、令和42年度には、鬼北町の人口も1/2以下に設定されている。今後の人口減少に伴う空き家増加対策について問う。

**答** 町では、町内に居住を希望する方への空き家紹介やマッチングを図る等、空き家の解消に努めている。昨年度末時点における空き家バンクへの登録件数は延べ54件となり、うち、売買契約に至った空き家物件は延べ16件、また、賃貸契約となった空き家物件は延べ17件である。老朽化により倒壊の危険性がある空き家については、補助対象費用の10分の8以内で、上限80万円を除却費用として補助しており、平成29年度の事業開始から令和4年度までの6年間で53件を除却した。今後も空き家が増

加することが予想され、災害発生時の防災の観点からも、事業を推進していく。

**再質問** 空き家対策について10分の

8以内の80万限度の事業を、年間5件程度実施しているが、上限があり、住民の個人負担が、何百万必要だが、80万円の補助しかない、危険空き家・特定空き家がかなり増えている。これも小・中学生の通学路に面した部分など、危険空き家が多くあると推測するが、他市町では行政執行している自治体もある。住民・子供たちの安全・安心のために予算を拡充する考えはないか。

**再答弁** まだ予算化していないのが現在事実である。他市町の行政執行の部分も少し検討して、より前向きに検討したい。



〈老朽危険空き家〉

## 復活「五ツ鹿踊り」



末廣 啓

高齢化や後継者不足で、2015年頃を最後に中断していた「清水の五ツ鹿踊り」が、昨年の天満神社（清水）秋季例大祭で復活したのでご紹介します。

この鹿踊りは、伊達政宗の長子秀宗（宇和島藩初代藩主）が入部した際に、仙台地方に伝わる鹿踊りを連れてきて、藩内に広めたとされます。初代の鹿の面の裏面には、「嘉永六丑八月吉日」と記されており、百七十余年の伝統があると思われます。鹿踊りの構成は雄鹿4頭と雌鹿1頭で構成され、長唄が比較的多く、古い



形の面影を残しているとされ、昭和40年、愛媛県指定無形民俗文化財に指定されました。

代々、清水下組の男児によって受け継がれてきましたが、少子化により女兒や組外の子供らにも対象を広げながら、何とか維持してきたものの、構成が難しくなり、中断やむなしの状況となっていました。

町内外のアマチュアカメラマンからの実施の問い合わせや「何とか続けたい」という地元住民の思い、「指導者がいなくなる」等の危機感が重なり、役場担当者を通じて地域おこし協力隊に相談したところ、町若手職員も含めて10名を超える若者に参加していただいた。

九月半ばから指導者の下、稽古を始めた踊り手は、慣れない動きに四苦八苦しながら、何度も何度も繰り返して、稽古に汗を流した。そして、例大祭当日、華やかな衣装を身に纏い、鹿面をつけた2メートル超の五ツ鹿は、神輿や牛鬼とともに、神社を出発。御旅所に到着すると、観客から歓声

と拍手で迎えられました。中央で約15分の優雅な舞いを披露すると、秋晴れの陽光を浴びて輝き、前ぎぬの下でトントコトントンと太鼓を打ちながら笛や長唄に合わせて踊る様は、哀愁を感じさせ山里の風情も感じました。住民からは再び盛大な拍手を浴び、多くのカメラフラッシュを浴びていました。

このような伝統文化・民族芸能は、少子・高齢化の波を受け、中止や中断が全国で起きています。幸い愛治地区ではこのような形で「五ツ鹿踊り」が復活し、にぎわいが戻ったように思います。地区住民の減少が著しい愛治地区です。こうした祭りや他のイベント等の継承を通して、地域内の絆を強く持ち、地域の衰退や結びつきの弱体化を、少しでも防ぐことが出来たらと思っています。



〈五ツ鹿踊り〉



〈御旅所に向けて出発〉

## 町民の声



### 鬼北町議会への提案

高田 暢弘（広見）

鬼北町旭町で生まれ、18歳から65歳までほぼ半世紀、鬼北町を離れていましたが、2年前に三島地区広見にUターンしてきました。

現在、以下のような地域活動に参加しています。

・太鼓集団「魁」の最高齢現役メンバー

・「国際文化交流クラブ」代表（文化協会会員）

・「企業組合森の風」で耕作放棄地を活用したえごま油作り&ネット販売（6次産業化）

・農業公社の「おてがる農業倶楽部」に参加

プライベートではシニアのシェアライフ（友人との共同生活）で新しい形のシニアの生き方を実践しています。ネット環境が充実しているお陰で買い物も全く問題なく、今もオンラインで仕事をしています。個人的には鬼北町での生活に大満足しています。

しかし、不安もあります。最大の不安は鬼北町の存続です。

私が子供の頃は北宇和中学だけで130名強の同級生がいましたが、現在は鬼北町全体で新生児は30名前後ということです。10年後、20年後の鬼北町の存続に不安を感じているのは私だけではないでしょう。どのような手が打たれているのかも見えていません。

議員には2つの大きな役割があると

います。

- (1) 地域の代表として、地域の問題を役場に届け、解決する
- (2) 鬼北町の問題を俯瞰して、役場（執行部）の監視を行う、また、役場（執行部）に対し、提言を行う

執行役である役場と町民の代表である議員の皆さんが日々、様々な問題に取り組まれていることと思いますが、議員の皆さんの努力が残念ながら町民には見えていないのではないのでしょうか？町民が期待しているのは(2)です。

一度、議会の傍聴に行ってみました。議会報告会にも参加してみました。その上で、以下のような提案をしたいと思います。

#### 【提案①】 具体的な分科会の創設

次のような分科会を創設し、議員の代表者を決定、住民に告知し、住民との意見交換会を積極的に行ってほしい。

●人口減少・少子高齢化対策委員会（最大の課題、10年先、20年先を見据えた議論が必要）

●三セク事業監視委員会（住民に実態が見えていない）

●地域通貨事業委員会（本丸の議論が先送りされている）

●再エネ委員会（先日、役場からアンケートあり）

●水道民営化委員会（将来、必ず議論となる）

●ワクチン副反応対策委員会（TV・新聞では報道されないが大問題）

【提案②】 鬼北町にはメディアがない↓  
議会のYouTube配信を

全国には議会をYoutube配信している自治体も増えてきており、鬼北町も始めるべきです。議会から申し入れをしてもいいのではないのでしょうか？

【提案③】 議員の皆さんはSNSのアドレス公開を（LINEあるいはメッセージ）

議員の皆さんは全町民の代表ですから、町民の声を聴くためにもSNSのアドレスを公開し、住民からアクセスができるようにしてほしい。

ネット上では元明石市長の泉房穂氏（人口増を実現）、安芸高田市の石丸市長（Youtubeの議会中継は100万再生を越え、ふるさと納税も激増中）、泉大津市の南出市長（正しいワクチン情報を提供）、釧路市（パンデミック条約反対の陳述書を政府に提出）など1700以上ある地方自治体の一市長が全国で話題を呼んでいます。

何故か？

理由は簡単で地方の問題が日本の問題だからです。「自然豊かな、心豊かな、暮らし豊かな鬼北町」が自然消滅しては困ります。鬼北町でも可能なはずです。

今後は社会経験豊富な議員の皆さんの役割の重要度が増しています。よろしく願います。



〈友人のインド人との歩き遍路結願〉



〈おてがる農業クラブ〉

# 議 会 活 動 報 告

令和5年1月1日～令和5年12月31日

月 日	会 議 事 項	主 な 協 議 内 容
1	1 6	広報委員会 議会だよりの記事の校正について 他
	2 0	第1回議会運営委委員会 第1回臨時会の運営について
		第1回鬼北町議会臨時会 議案1件、承認1件
		第1回全員協議会 鬼北町における脱炭素社会の実現に向けて 他
	第3回議会改革特別委員会 委員会活動計画について 他	
2	6	第2回全員協議会 町立北宇和病院の病床について 他
	2 2	第2回議会運営委委員会 予算常任委員会の議事日程について 他
		第3回全員協議会 J R近永駅改修工事について 他
3	1	第3回議会運営委員会 第1回定例会の運営について
		第4回全員協議会 第1回鬼北町議会定例会について 他
		第4回議会改革特別委員会 委員会活動計画について 他
	8	第1回鬼北町議会定例会（1日目） 議案40件、発議1件、同意1件
	9	第1回鬼北町議会定例会（2日目）
	1 3	予算常任委員会（1日目） 令和5年度当初予算審議
	1 4	予算常任委員会（2日目） 令和5年度当初予算審議
	2 4	第4回議会運営委員会 第1回定例会の運営について
第1回鬼北町議会定例会（最終日） 第5回議会改革特別委員会 第1回視察調査研修について 他		
4	1 2	議会改革特別委員会視察研修 内子町
	2 1	北宇和郡議員研修会 松野町
5	9	議会改革特別委員会視察研修（～10） 広島県北広島町、広島県安芸太田町
	1 1	第5回議会運営委員会 第2回臨時会の運営について
		第5回全員協議会 第2回鬼北町議会臨時会について 他
	1 7	第2回鬼北町議会臨時会 承認4件、議案4件、発議1件
		第6回議会改革特別委員会 正副委員長の互選について
	2 2	第6回全員協議会 鬼北町における脱炭素社会の実現に向けて 他
2 2	第7回議会改革特別委員会 アンケートについて 他	
6	6	第1回議会広報常任委員会 掲載記事について 他
	8	第6回議会運営委員会 第2回定例会の運営について
		第7回全員協議会 日吉夢産地改修工事について 他
		第8回議会改革特別委員会 町民アンケートについて 他
1 5	第2回鬼北町議会定例会 議案5件、同意14件	
7	1 3	第7回議会運営委員会 第3回臨時会の運営について
		第3回鬼北町議会臨時会 議案2件
		第8回全員協議会 地域公共交通システムについて 他
		第2回広報常任委員会 掲載記事について 他
8	4	第1回町議会議員研修会 松山市
	8	第8回議会運営委員会 第4回臨時会の運営について
		第4回鬼北町議会臨時会 承認1件、議案4件
		第9回全員協議会 議会報告会について 他
		第10回全員協議会 史跡等妙寺旧境内平坦部A保存整備工事について
		第9回議会改革特別委員会 町民アンケートの結果について 他
3 0	第10回議会改革特別委員会 議会報告会について 他	

9	8	第9回議会運営委員会	第3回定例会の運営について
		第11回全員協議会	鬼北町公用交通利用者支援事業（仮称）について 他
		第11回議会改革特別委員会	議会改革特別委員会の中間報告について 他
	15	第3回鬼北町議会定例会（1日目）	議案18件、諮問1件
	19	第3回鬼北町議会定例会（2日目）	
	21	第10回議会運営委員会	第3回定例会（最終日）の運営について
第3回鬼北町議会定例会（最終日）			
第12回全員協議会		認定こども園ゆずっこ整備事業について 他	
10	14	四国町村議会議員研修会（～15日）	徳島県、高知県
11	1	第13回全員協議会	認定こども園ゆずっこ整備事業について 他
	15	常任委員会合同視察研修（～16日）	大分県九重町、福岡県香春町
	24	第12回議会改革特別委員会	今後のスケジュールについて 他
12	1	第11回議会運営委員会	第4回定例会の運営について
		第14回全員協議会	教育課程特例校申請について 他
		第13回議会改革特別委員会	今後のスケジュールについて 他
	8	第4回鬼北町議会定例会（1日目）	議案22件
	13	総務産業建設常任委員会	町道路線の認定について
		第12回議会運営委員会	第4回定例会（最終日）の運営について
		第15回全員協議会	議会改革特別委員会調査最終報告について 他
	14	第4回鬼北町議会定例会（最終日）	
		第3回議会広報常任委員会	編集について 他
26	第4回議会広報常任委員会	記事の校正について 他	

## 常任委員会合同視察調査研修

中山 定則

令和5年11月15日、大分県九重町議会と令和5年11月16日、福岡県香春町議会で、議会だより、住民との対話機会、議員のなり手不足、議員の定数及び報酬、について研修を行いました。

両町の議会とも、議会だよりを年4回定期的に発行している。視察して、議会だよりの作成方法等を資料により説明いただき、質問にも丁寧に回答いただいた。

九重町の議会だよりの内容は、定例会ごとに記事もパターン化しているとのことであった。定例会閉会の翌月に発行と短い期間での作成は大変だと思うが、説明していただいた広報委員の皆さんは、苦にならないようであり感心した。2023年10月発行の議会だよりの編集後記に「・・・議会に目を向けていただきたい・議会の様子を知っていただきたい、との思いで全員努力しています。議会、議員の活動をチェックする一番の情報誌です、是非一読をお願いします。」と書かれています。議会、議員が活発に活動されていること。議会だよりにかける熱意を感じました。

香春町の議会だよりは、編集の基本方針により、記事の作成・編集ポイントを決めて作成され、とても読みやすく、わかりやすいと感じた。2023年4月発行のかわら議会だよりの最終ページに、「新しい広報委員7人が決まりました。今年度の目標を「町民の皆様に伝える・伝わる議会だより」と掲げ、皆様の声を行政に届けるため、広報・広聴活動の力を注ぎます。議会の取組や活動を分かりやすく伝えていくため、広報委員一同頑張っ参ります。」と書いています。議会だよりに対する強い意気込みを感じました。



〈福岡県香春町〉



# 議会を傍聴しませんか

※ 鬼北町の定例会は3月、6月、9月、12月です。町の定時放送で日時をお知らせしていますので、町民の皆様の傍聴をお待ちしています。(ケーブルテレビでも中継放送されています。)

## 《議会広報常任委員会設置》

令和5年5月17日第2回臨時会におきまして、「議会広報常任委員会」設置が承認されました。  
議会の活動や様々な情報を発信してまいります。  
委員は次の4名です。

委員長	松浦 司
副委員長	高橋 聖子
委員	兵頭 稔
委員	中山 定則



議会広報常任委員会

委員長 松浦 司  
副委員長 高橋 聖子  
委員 兵頭 稔  
委員 中山 定則

令和5年5月17日の臨時会において、議会広報常任委員会が設置され、しっかりとした議会活動報告が出来る事となりました。

今年度は、常任委員会合同視察の中で九州へ先進地視察を行い、他町の議会・議会外の取り組みや議会だよりの発行について勉強を重ね、鬼北町議会でも充実した『議会だより』が発行できるよう今後に生かし、広く町民の皆様にご理解・ご協力いただけるよう努力してまいります。

議会広報常任委員会委員長 松浦 司

**編集後記**